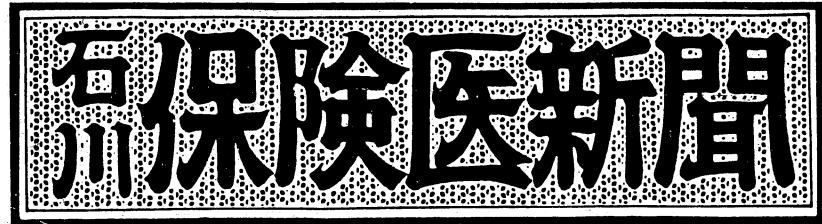


主な記事

- 2・3面 10大トピックス
- 5面 輪島鳳至医師会との懇談会
- 6面 嘱託医懇談会
- 7面 健康なんでも相談、各地で開催  
秋の食べ歩き会



発行所  
石川県保険医協会  
金沢市尾張町1丁目9番11号  
尾張町レジデンス2F  
電話 (0762) 22-5373番  
発行人 後藤田博之  
印刷所 ユーアイ印刷  
(会費月額 3,800円)

# 石川県保健医療計画が公示 4医療圏と必要病床数を定める

表1 石川県保健医療計画の第二次医療圏と必要病床数

医療圏域	必要病床数①	必要病床数②	② - ①	② / ①
南加賀	2,433	3,207	774	131.8
石川中央	8,999	10,684	1,685	118.7
能登中部	2,098	1,883	△ 215	89.8
能登北部	1,337	963	△ 374	72.0
計	14,867	16,737	1,870	125.8
精神病床	3,599	4,109	510	114.2
結核病床	641	581	△ 60	90.6

## 改正医療法に基づき いよいよ病床規制

石川県は改正医療法に基づき、つく地域医療計画の「必要記載事項」である「医療圏の設定と各圏域における必要病床数」を十二月一日公示しました。(表一)

この結果、医療圏内の必要病床数を超える病床の新増床は県知事の勧告、不許可処分の対象となります。必要病床数の算定式(表二)を全国規模で試算してみると式の左項は結局はその時点における日本全体の入院患者総数を表すにすぎず、全国平均病床利用率は

## 十分な意見具申 あったのか?

本年二月二十日に県下の全医療機関対象に患者の受療動向調査が行われました

が、地域別地元依存率(表三)にみられるように病院の一般病床入院患者についてみると、輪島六〇・八%、珠洲三一・九%と低く、都市部への集中が顕著になっ

受療率よりも高ければ、必要病床数は現在病床数より一般に少なくなります。こうして、受療率の高い地域は病床過剰として、削減・規制が意識的に進められることとなります。

一方、病床不足の地域では、昨今の医療費抑制策、患者負担の増大のなかで民間病院では経営の見通しが立たなければ増床しないことは明らかです。

表2 必要病床数の算定式

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{当該区域の} \\ \text{性別・年齢} \\ \text{階級別人口} \end{array} \right\} \times \left\{ \begin{array}{l} \text{当該地域の属する都道府県} \\ \text{を含む地方ブロックの性別} \\ \text{年齢階級別入院受療率} \end{array} \right\} \text{の総和}$$

$$+ \left\{ \begin{array}{l} \text{当該区域への} \\ \text{他区域からの} \\ \text{流入入院患者数} \end{array} \right\} - \left\{ \begin{array}{l} \text{当該区域から} \\ \text{他区域への流} \\ \text{出入院患者数} \end{array} \right\} \div \text{全国平均病床利用率}$$

表3 地域別地元依存率

総数	(単位 %)	
	入院	外来
山代	71.7	89.2
小松	82.7	89.8
金沢	73.3	93.0
津幡	42.8	71.2
羽咋	94.1	95.9
七尾	50.5	76.3
輪島	53.2	80.7
珠洲	85.6	95.2
	60.8	92.5
	31.9	85.1

(注) 入院は、病院の一般病床

## 問われる 医療担当者の役割

今後、石川県では「任意的記載事項」である「医療供給体制の確保に関する事項」(①病院の整備目標、②僻地医療・救急医療の確保、③医療機関相互の機能連携、④医療従事者の確保)が医療計画作成協議会並び

に医療審議会にて協議され、来年三月末日までにまとめることになっており、ここで本当に地域住民のための医療計画となるかどうか、医療担当者の真価が問われるようとしています。

## 一九八七年 保険医協会10大ニュース 一二・三面に掲載

## 医心凡語

今年の秋は例年になく好天続きで、そのためか暇な医療機関が多かったという。しかし師走の声を聞くとさすがに冷え込んで、やはり来るものが来たとの感が強い。

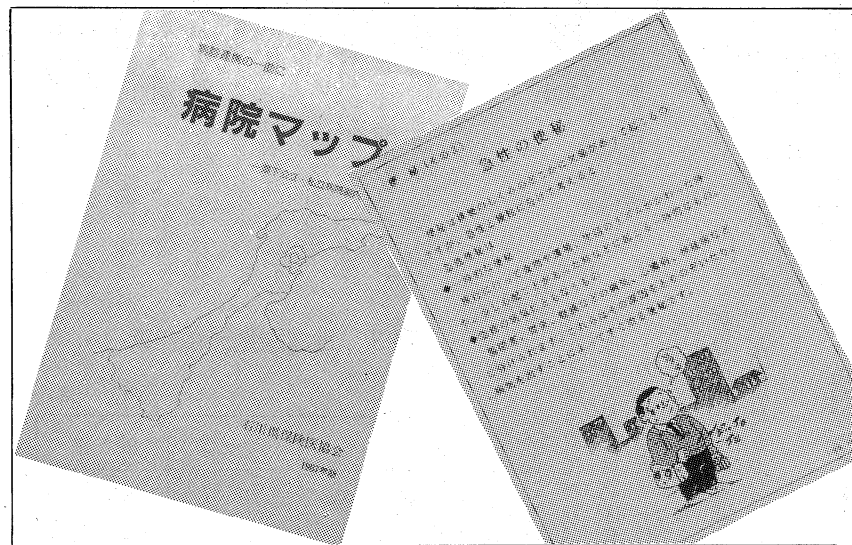
医療費抑制や大病院指向などにより医療経営はとくに冬の時代に入っているが、最近、医療機器や薬品購入により借金がかさんで経営困難になり、モグリ融資を受けたために多くの病院が乗っ取られたり、倒産したと聞く。折しも新薬が各社一斉に発売され、売込合戦が華々しい。同一種類の薬が同一時期に、しかも年々高価に発売されるのは何とも不思議なことだが、効果があると聞けば無理しても買いたくなるし、平常雑用で世話になっているセールスマンらの必死の売込みを無下に断ることも出来ず、何とも頭の痛いことである。

某大病院の課長が偽診断書を作った。精神科、麻薬、覚せい剤、アルコール中毒でない」という例の診断書だが、七枚近く偽造したとは何ともすさまじい。正直なところ、われわれ医師もこの診断書には悩まされ続けている。本人が中毒かどうか調べようがなく、体の具合や日常生活から推測するだけだからだ。これを書かせる役所が恨めしいが、書いたからには事件が起きないよう、ただひたすら祈るだけである。



4月16日より、「病診連携に役立つ症例検討会」を2カ月に1回開催。

# 大 10 ニュース



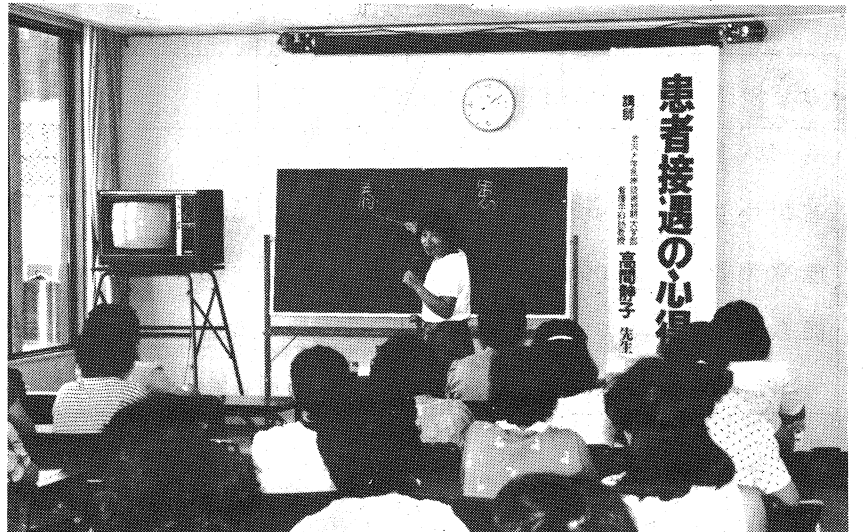
「病院マップ」第2版を発行。また「慢性疾患マニュアル」第2弾(新たに5疾患)を発行。



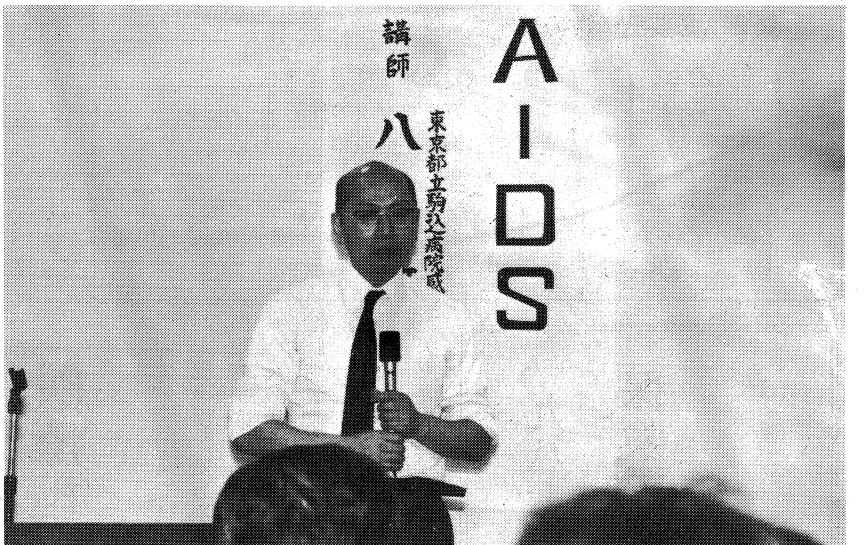
石川県技監 西 正美先生

石川県厚生部保険課 指導医療官(歯科担当) 大島 稔先生

5月16日、第13回定期総会に西正美先生(石川県技監)をお迎えした。また、来賓として大島稔先生(石川県厚生部保険課指導医療官・歯科担当)が出席。



「県下8会場での従業員講習会」を開催。参加者はのべ918人と過去最高。



初の歯科部主催で「AIDS」をテーマに開催。91人が参加。



参加者から多数の質問が出された。11月14日 金沢都ホテル

これらの問題点にも触れながら、この分野に詳しい弁護士・池永満先生(九州合同法律事務所所長)が「審査・監査における法的問題点」と題する講演を行いました。次いで、今回の審査アンケートの集計結果に関して三人の審査委員の先生方からコメントをいただき、これらについて質疑応答が行われました。その詳細については後日「審査問題特集号」で紹介いたします。

(学術保険部)

## 第三回審査対策研究会

### 新しい統一企画で充実

弁護士の講演と 審査委員との懇談会

審査改善運動の一環と「アンケート」の集計結果がしてすでに二回開催されたこの研究会も今年(第長)から紹介され、その中で三点の問題点が提起されました。

①「薬剤の適応・用量が能書の範囲内に限定される」傾向がますます強くなってきたが、能書の法的意見は?

②審査委員が変わることによって、また、各県ごとに審査上の格差を認めることが多いが、法的には審査委員の裁量権は? ③保険者からの再審査請求がどんどん増えるなかで、診療側からの再審査請求は非常に少ない現状であるが、再審査請求の権利は法的にはどうか?

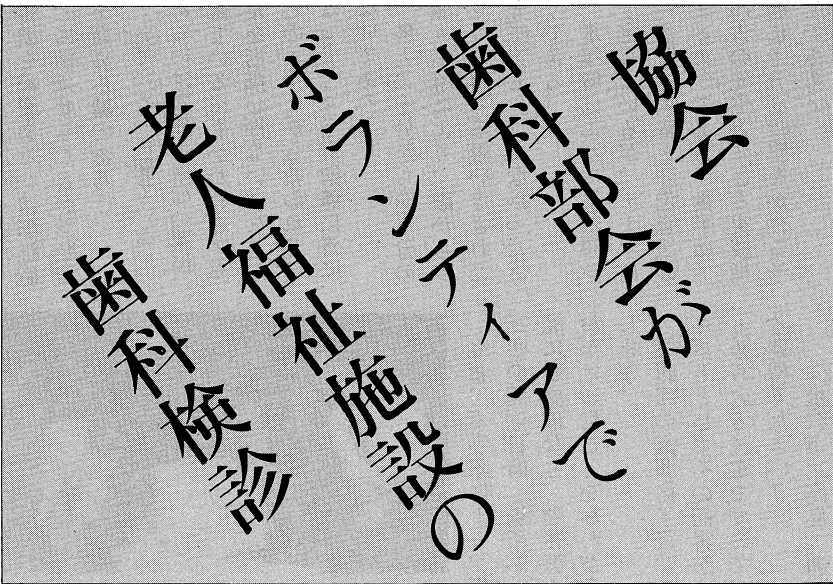
長基先生(学術・保険部副部長)の司会で始まり、最初に今秋行われた「第九回審査に関するア



1月18日、富山協会と当協会の理事懇談会を開催



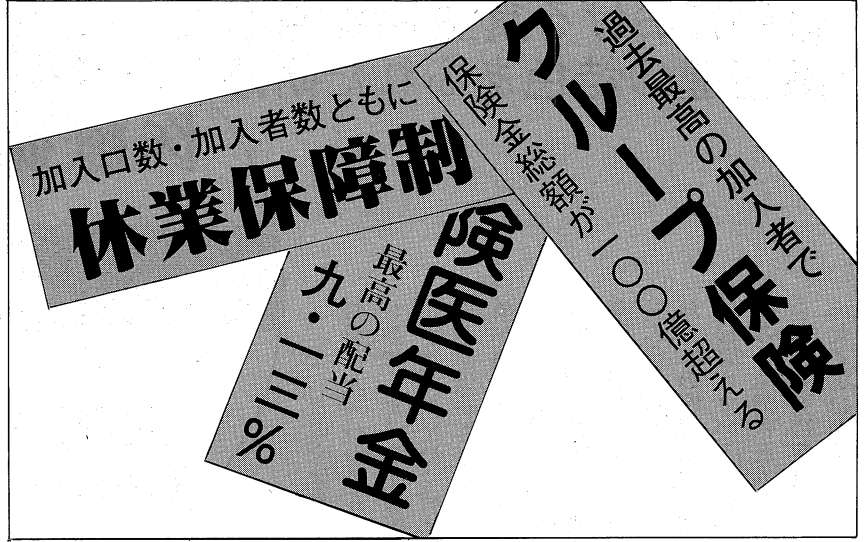
今年から、シリーズ取材記事「医療・福祉を支える人たち」と「わが町村の医療・福祉を語る」のコーナーを新設。



老人福祉施設の歯科検診。



老人性痴呆対策委員会（輪島鳳至医師会）と懇談。翌日、特養ホームの嘱託医と懇談。



5・6月に募集した「グループ保険」の保険金総額が100億円を突破。「保険医年金」の配当は9.13%、過去最高。

### 慢性疾患マニュアル第2弾好評発売中 !!

患者教育に最適です

- ◎COPD
- ◎ガン
- ◎肝疾患
- ◎便秘
- ◎脳血管障害

1セット  
1,000円 (送料込)

お申し込みは協会事務局へ  
☎ (0762) 22-5373

《第1弾（虚血性心疾患、糖尿病、肥満、高血圧、胃・十二指腸潰瘍）も在庫があります。》

協会会員の先生方には1セット無料でお送りしましたが、只今、追加注文（有料）受付中!!



酒たばこは  
ひかえめに……

慢性疾患マニュアルは各疾患とも10~20ページにわたって、一枚一枚上記のようなイラストを使い分けやすく書かれています。

超音波断層講習会

四人の講師からマン・ツー・マンで受講

腹部の超音波断層検査法について、この数年間、実技講習会を行ってきた。

十一月四日、金沢都ホテルにおいて、本年度第三回の講習会が、おなじみの亀山富明先生を講師にお迎えして開催された。

第一回は、US機器の操作および走査の手順と肝区域および尿管の解剖、さらに走査方向によるUS像の現れ方について解説される。

第二回は、アーチファクトを含むUS像の誤認と見

落し、および腫瘍性病変の特徴について説明された。

第三回は、腫瘍性病変を性状別に分類し、臨床的US検出率および確診率にも言及された。

特に第三回の実技指導では、亀山先生の教室からさらに三人の先生方にご足労

いただき、計四台のUS機器を用いて、個別に参加者全員を手取り足取り直接にご指導いただいた。

US検査法は、リアタム

度や方向を変えた断層像の集積を網膜あるいは脳細胞上に結ばせることが診断能を高める鍵であろう。

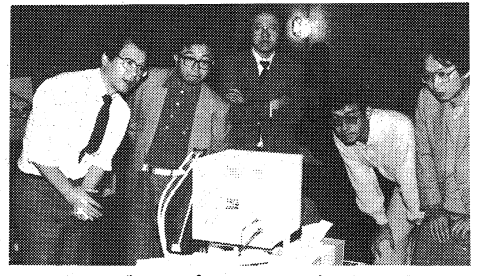
見ているのに観ていない、あるいは認識出来ない部位、観ているにもかかわらず異常を指摘し得ない。などなどのエラーから救われるには、Hand to Hand 指導以外にないであろう。

各人二十分から四十分の個人指導により、眼からウロコの落ちる思いをされた先生方も少なくなかったようである。

本年度は二月に第四回を予定しているが、テーマは「血管性病変と肝走査法」と「まとも」である。後半は、四人の先生方による実技指導に十分な時間をかける予定である。

第四回の講演終了後、テキストとしてその内容がまとめられる予定ですので、ご期待ください。

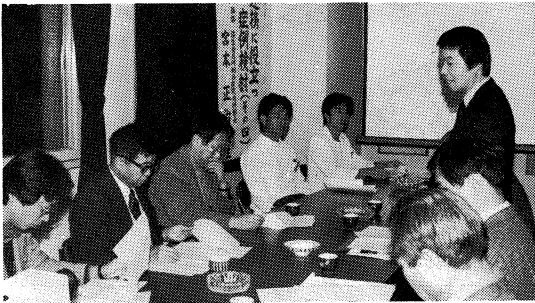
(金沢市・高島 朔)



1グループ5～6人で個人指導

第4回病診連携のための症例検討会

脾疾患の三症例 最新の診断法を学ぶ



30人の参加で満員の会場

症例一は、飲酒歴のある二十七歳男性で左季肋部痛で受診、血アミラーゼ一、六二〇と上昇するも腹部エコー上異常なく内科治療を行ったが、次第に腹部全体に痛みを呈し、CTスキャン上、脾の密度上昇、腫大と腹水を認めたため入院。三日目に開腹手術を行い、脾出血、血性腹水、腹腔内脂肪組織の白色化を呈していた急性脾炎重症型の症例であり、青山外科医長より手術所見の教示があった。

症例二は、糖尿病、肝障害を合併した飲酒歴のある四十四歳男性で血アミラーゼ八〇と低めだったが、CTスキャン上、脾石があり、ERPにて主脾管の拡張がある慢性脾炎の症例であり、糖尿病治療と脾切除

の適否につき論議された。症例三は、上腹部不快感、体重減少のある八十歳女性で、血アミラーゼ一、一六三と高く、エラストラーゼ、リパーゼ共に上昇しており、腹部エコー、CTスキャンERPにて脾頸部腫の疑いで精査中の症例であった。三症例の脾疾患を画像診断を中心に懇切に説明していただき、協会員一同、最新の診断法を修得すること大であった。後記になるが病診連携に深いご理解を示され、われわれ協会員のため勉強の場を提供して下さいの中出隆院長、宮本正治内科部長をはじめ諸先生方に深く感謝と敬意を捧げます。

(金沢市・相良宝作)

訪問看護、在宅ケアなど 熱意あふれる活動に感服

十一月二十二日、二十三日の二日にわたって、チサンホテル神戸を主会場にして、保団連医療研究集會が開かれた。二十二日はまず桐島保団連会長が基調報告をし、「住宅環境調査で浮き彫りになったように、劣悪な住宅環境が疾病に悪い影響を及ぼしているにもかかわらず、厚生省は入院医療から在宅医療への転換を強力に進めようとしている。また国民医療総合対策本部がまとめた中間報告にそって来年度予算概算要求をし、在宅ケア、看護協会が中心になって進めている訪問看護、市が中心の在宅ケアシステムなどが報告され、つぎに小泉研究部長が四十近くの具体的な事例を上げて、住宅環境調査の中間報告を行い、「住宅環境と健康」アピールを提案し採択された。

早川和男神戸大学教授らが参加した「住宅環境と住民の健康」シンポジウムでは、様々な分野からの提言・示唆があり、内容のある討論が行われた。二十三日の第二分科会では「病診連携と在宅ケア」というテーマで開かれた。整形外科医院で取り組んでいる在宅ケア、看護協会が中心になって進めている訪問看護、市が中心の在宅ケアシステムなどが報告され、それぞれの取り組み方での努力・熱意には感服させられた。私も「当院での病診連携」というテーマで報告した。

(金沢市・西村邦雄)

保団連 医療研究集會

全国から400人 石川からも10人参加

二十二日の全体集會には約四百人(石川から十人)が参加した。住宅環境調査の中間報告では、特に都市部の住居がみじめという印象が強い。

医科・歯科

第一分科会

第二分科会

第三分科会

「住と健康」に関する、建築学、社会学、公衆衛生学研究者からの提言の中で、特に印象深かったことは、かなりの疾病が、住宅環境に起因しているという点である。全国六百人の会員から二千九百の症例報告があったことは医師の職責の自覚という点で確かに有意義なことではあるが、全国紙に報道するに際し、科学的処理が充分になされることを切望する。また、学者の提言の中で、西欧との比較において、日本の気候や生態系に対する考慮が十分でなかった。

今日の歯の 悲劇を見た

噛みかつ咀嚼しにくくなる歯があるのに軟食を与えられている小児と、単なる栄養の摂取としかみなされていない痴呆老人の食生活とに今日の歯の悲劇を見た。

(金沢市・大矢甚祐)

歯科における食生活指導など 保団連の特色あふれた研修

輪島鳳至医師会との懇談会

手仕事で呆けが治った

輪島鳳至医師会から大いに学ぶ

「うちのおばあちゃん、ちよっとおかしいぞ。呆けのはじまりかな」と家族が気づき、いろいろ悩んだ末、まず相談に行く先は、かかりつけの家庭医という場合がほとんどです。そんな家族やお年寄りにとって、親身になって相談にのり、家族と一緒に悩んで、考え、的確に治療、アドバイスをしていただける医師に

めぐり逢えるかどうかは、その後の介護生活を左右する大きなカギのひとつです。痴呆老人への対処は、どんなケースもこうすれば良いという普遍的な方法は少なく、個別的なきめの細かい対応が必要であるといわれています。生い立ち、職業など患者さんの生きてきた歴史や家族、近隣との人間関係、生活環境などを把握し、現実可能な方法を家族に助言できる家庭医こそ、痴呆老人の医療における名医ではないでしょうか。そんな医師集団に経験豊富な精神科医も加わって、チームで地域のお年寄りの呆け防止に積極的に取り組んでいるのが、輪島鳳至医師会の老人性痴呆対策委員会の活動です。

輪島の取り組み 望まれる 他地域への波及

紅葉も盛りの去る十一月十四日、協会の後藤田、高松、大野の各先生と事務局の杉野さんとともに、「輪島鳳至医師会との懇談会」に出席させていただきました。

「呆け老人をかかえる家族の会」の事務局を担当している私にとって、今年四月の新聞記事でも報じられていた輪島鳳至医師会の呆け老人への相談、指導の取り組みについては、ぜひ直接お話を聴きたいと思っておりまして、願っ

「老人性痴呆化防止指導状況中間報告」をもとに 効果や問題点など活発な意見交換があった。



てもない機会でした。

懇談会には、会長の新田先生をはじめ、お忙しいなか七名の先生が出席され、「老人性痴呆化防止指導状況中間報告」をもとにそれぞれのケースについて、効果のあった指導内容、難しさや問題点など活発な意見交換が行われました。

解説 税制改正

メテイカル・ゼミナール

解説 税制改正

シリーズ3

木村経営ブレイン 木村光雄 税理士

来年四月一日前後の課税について

今月は、いわゆるマル優廃止（昭和六十三年四月一日以降）に伴ない、利子課税の方法が変更になり、四月一日前後の課税について簡単に説明したいと思います。

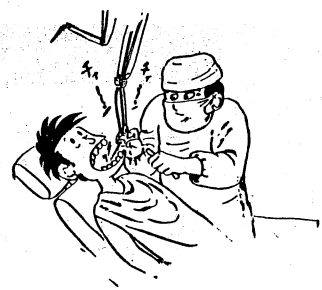
まず、これまでどおり非課税となるのは、一、六十三年四月一日前に支払いを受ける利子。二、六十三年四月一日を利子の計算期間を含む場合は、その利子などの計算期間の初日から六十三年三月三十一日までの期間に対応する利子。三、六十三年四月一日において、老人などに該当する者が、三月三十一日において有する預貯金で、一定の手続きをとったもの。この三点のみということになります。実務的にみて一番ケースが多いのは、おそらく二番目だと

保団連歯科協議会 第十二回評議員会の報告

保団連歯科協議会第二回評議員会が十一月十五日午前十時から、大阪・三井アーバンホテルで開かれ、全国から評議員、幹事、事務局ら六十七人が出席した。

評議員会は毎年三回開かれ、歯科協議会の活動のまとめと方針討論はもとより、各協会の活動交流の場ともなっている。

日歯と技工士会 冷静な協議が必要 委託技工料問題



今回の主な討議事項は、①歯科医師急増に対する歯科協の見解、②委託技工料の問題、③福祉目的税に対する批判、④保団連の開業医宣言の扱い、⑤各地の審査・指導の実情、⑥現行診療報酬の体系の見直し（合理化）、⑦各協会、歯科部

「中医協は制度上、委託技工料を扱う場でないこと、また現行制度下で委託技工料を報酬体系に組み入れることは独禁法に違反する」という法的論拠に立つ日歯と、「技工料を薬価と同じに扱える」と主張する厚生省（支払側を含め）間の相違が明確になってきた。他方、技工士会の中に問題解決を一人の政治屋に依頼したことに対する反省があるようである。いづれにせよ、日歯と技工士会で長期展望に立った冷静な協議が必要であり、かつ、その内容をその都度詳細に会員へ報告することが求められている。その際、医科における委託検査料が参考になるように思える。（歯科部）

### 第1回特別養護老人ホーム囑託医の懇談会

## 県内で初めて能登地区の囑託医、穴水に参集

# 中間施設への提言もあり、貴重な機会に

県内では初めての特別養護老人ホーム囑託医の懇談会が、十一月十五日(日)、午前十時から穴水町国民保養センター真名井で行われました。当日、輪島での会合に引き続きの協会主催行事でした。

出席者は、中沢芳夫先生(珠洲市・長寿園囑託医)、中沢泰夫先生(能都町・鳳寿荘囑託医)、忠縄輝雄先生(穴水町・聖頌園囑託医)、宮下友吉先生(輪島市・あての木園囑託医)、高松弘明先生(協会理事・石川県八田ホーム囑託医・司会)、大野幸治先生(協会理事)、後藤田博之先生(協会会長)、鈴木森夫氏(金沢市映寿会病院MSW・アドバイザーとして参加)。



正面右から中沢泰夫、忠縄輝雄、宮下友吉、中沢芳夫の各囑託医。

会は昼食をとりながら午後一時まで続き、囑託医の勤務体制と状況、診療行為の内容と問題点、入所者の疾病、診療室の形態や規模、治療・検査の限界・他病院との連携、往診、看護婦・寮母などに対する教育、職員との対応、ターミナルケアのあり方など多岐にわたり、実際の体験からにじみ出た貴重な意見や苦労話が出た。

## 時宜を得た懇談会 保険医協会に感謝

珠洲市長寿園囑託医 中沢芳夫

医療費の抑制と高齢化社会の到来にもなると、ボケ老人、寝たきり老人の増加を来し、大きな社会問題となってきたので、その対応策として各地に特別養護老人ホームの新設が相次ぎ、長期入院を抑制すべく在宅ケア・中間施設などと矢張り早くの方針として打ち出して来た。それに対して医師会は医師の技術料、医療費の改善要求などに対するエネルギーをそがれ、生涯教育、地域医療計画、中間施設など地域医療にいかに対応すべきか防戦というか、いわゆる受け身になっているのが現状ではないだろうか。

話を合ったことは誠に有意義であったと思う。それをふまえて中間施設の新設、厚生省の力を入れて在宅ケア・在宅医療などに対して単なる医療費抑制だけではなく、真の地域住民の健康増進と地域医療の充実向上に医師会として対応して行くべきである。

このたびの機会を与えられた保険医協会に対して感謝すると共に、保険医協会に入会してよかったですと初めて心より痛感すると共に微力ながら協会の発展に努力し、協力したいと思う。

(珠洲市医師会長)

毎度のことながら、事務局作製の資料に沿って部会が進行する。

①デンタルスタッフ講習会の反響が良くて、うれしい予波が県内外から押し寄せ、喜び大。来年はさらに良いものにと意気あがる。

②第十三回歯科医科隣接医学懇談会の開催計画について、今回は医科会員を講師にということで、理事会から具体的資料内容を要求され、その検討をする。

③保団連歯科協議会第二回評議員会の模様が出席者から報告され、対応を協議する。

④保団連医療研究集会へ

### 11月度歯科部会報告

## 脱線、雑談から 思わぬヒントが

脱線、雑談から思わぬヒントが。理事路整然と部会が進むことは絶対になく、脱線につぐ脱線で、司会者、事務局、いつも困惑ス。しかし、この脱線雑談が楽しいし、いろいろヒントになることも多い。理事路がサシミ定食なら歯科部会は五目焼ソバ大盛というところか。

協会員への使命感ばかりに圧迫されてもいられない。何をタライノことシトルと言われる先生方、一つ革命しに來ませんか。

(歯科部)

最近次第に理事会での報告事項が多くなり、協議事項を検討する時間が少なくなっています。これは協会の活動が盛んであるための喜ばしい傾向かもしれません。しかし今回の理事会で、大切なことでも協議しなければならぬことが何時もあともわしになっていくことが指摘され、今後報告事項を約一時間で済ませ、時間が来たら場合によっては報告事項を中止してでも協議事項に入ることが必要なのでないかとの意見が大半の理事から出されました。理事会を長引かせないためにも大変良い意見だと思えます。事務局の方にはそのように資料の提出をお願いしたい。

(大野)

## 理事会点描

### 報告および協議事項の時間配分を改善

1月17日 第12回理事会

報告事項を約一時間で済ませ、時間が来たら場合によっては報告事項を中止してでも協議事項に入ることが必要なのでないかとの意見が大半の理事から出されました。理事会を長引かせないためにも大変良い意見だと思えます。事務局の方にはそのように資料の提出をお願いしたい。

(大野)

## 新年号企画のための拡大編集会議

### ビッグ企画誕生

### 各部署長の初夢

十一月二十一日(土)、湯涌温泉「あたらしや」にて懇親会を兼ねた恒例(?)の拡大編集会議を開いた。機関紙・文化部長八名と後藤田会長、事務局二名の出席であった。

神酒の入る前、本年度最終版十二月号と来年度の新年特集号の編集計画を行った。十二月号では本年度協会活動の十大トピックスを選んだ。改めて協会活動の活発さを認識した。

新年特集号では、毎年、全国機関紙コンクールに応募していることから、来年は優秀賞をと活発な意見を出した。

企画内容としては、例年のごとく一頁と八頁をカラー印刷とし、一頁は「各部署長の初夢」と題して各部署の願いを、安藤良一先生にイラスト化していただくことになった。懇親会では一同楽しく飲み、食べた。その場でも今後多くの会員から気楽な投稿をお願いするよう努力しようとした。懇親会後も新年号の編集について夜中まで語り合った方々もあったと聞く。

楽しい一日であった。

(部長 柳下邦男)



小松市芦城公民館にて



金沢市大河端町集会所にて

# 秋の夜長 医師と住民が語り合う 健康なんでも相談、各地で開かれる

## 《主催者からのおたより紹介》

### 健康は 大きな財産

金沢市大河端町内会主催

第70回  
10月28日(水)

十月二十八日、午後七時三十分より大河端町集会所で町会主催、石川県保険医協会の協力のもと、内科の高松先生、整形外科の三秋先生、歯科の江守先生をお迎えし、なごやかな雰囲気の中、わかりやすい相談会が行われた。

熱心に耳を傾ける参加者も六十名を超えていた。中でも年配者が多かった。高松先生のユーモア溢れる司会で、最初に三秋、江守の両先生がそれぞれの専門の分野から簡単に日常の健康管理についての説明があり、その後、質疑応答に入った。

自分の体は自分で守らなければならないことから、昨年につづいて第二回の「健康なんでも相談」が小松市立芦城公民館で開かれました。私たち「あしる学級」にとっても小松地区としても大変結構なことでは

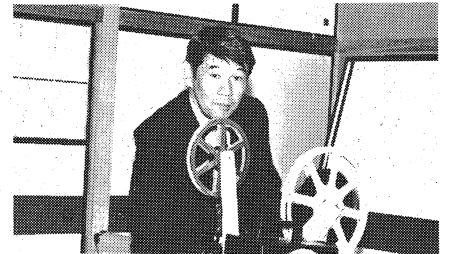
## 生きがいは 学ぶこと

小松市あしる学級主催

第72回  
11月11日(水)

から感謝しています。私共高齢者学級は平素から、ささやかな学習会の集いを持って生きがいの一端としております。学ぶことは広く浅く到底真理の探究などと大それた考えもありませんが、いろいろなことを教えられ、思考し継続して実行し老後の健康で豊かな生活の糧として人様や家族に迷惑をかけない生き方に関心を持ちつづけております。

このたびの「健康なんでも相談」では、ご多忙にもかかわらず三人の先生方から懇切なご指導をいただけました。また、まことに有難いことでもあります。先生方はどんな質問にも分かりやすく親切丁寧にご説明下さり大変に有難いことでした。中井先生の特に喫煙・飲



安原会場で16mm映画の上映をする石川ヤクルトの村木外志男氏

酒の問題については深い感銘をうけました。喫煙については、その後わが国で健康世界会議の折、取り上げられた問題で、先生の先見の明には敬意を表したいと思います。

二口先生は質問者が日頃経験し、よく知りたいと考えていることへの問題を詳細平易にお話し下さり、よく理解出来ました。

勝木先生には素人の幼稚な質問に適切にご説明下さり、加えての司会は地元の方の先生方の気楽さと相まってリラックスし、時間の経過を忘れませんでした。

保険医協会事務局長の神田さんは、会の企画についていろいろご配慮いただき夜おそく金沢からわざわざお越し下さって、私たち何のお手伝いもしなくて申し訳ありませんでした。

皆満足感を味わいつつ散会いたしました。先生方から感謝申し上げ厚くお礼申し上げます。

## 元気に働くことが もっとも幸福

金沢市安原明星会主催

第74回  
11月24日(火)

安原明星会が主催する「健康なんでも相談」は二年前から行われ、十一月二十四日に第四回目が開催されました。安原公民館の「寿の間」を会場に、歯科・内科・外科の三人の先生方がそれぞれ専門の立場で熱心

に話して頂いたほか、十六ミリ映画「高血圧を予防する日常生活」の上映もあつて、平素は不安な中にも、うっかりしがちな健康管理の要点を予防医学的見地から理解を深めました。

話して頂いたほか、十六ミリ映画「高血圧を予防する日常生活」の上映もあつて、平素は不安な中にも、うっかりしがちな健康管理の要点を予防医学的見地から理解を深めました。

ガンを、心臓病など成人病

で死ぬ、あるいは苦しんでいる現代社会の中にあつて家族ともども健康で幸せな一生を望まぬ人はだれ一人いないのです。こんな話を聞いて健康管理に役立てることが「ねらい」の機会なのです。忙しい中にも年に一回くらいは人間ドックを利用するとか、信頼する近所の医院で健康診断を受けるなど心と体に自信をもって元気に働くことが私たちにとって最も幸せなことだと思えます。健康管理は自分自身のものです。決して

石川県保険医協会主催の秋の食べ歩き会は、十一月十日(火曜日)午後七時より、香林坊は日本銀行裏、割烹料理「柚香」にて行われた。柚香は行まい、構えなど、いかにも金沢らしい気品をかもし、仕事疲れの上品な紳士や淑女がひよいと訪れ、旬味を楽しみつつ憩いの一時を過ごすような店。



13人の先生、奥様が参加。

今度も仲睦まじいご夫婦が四組。単独五名。奥様方は皆様美しく、着こなしが良く魅力的な方ばかり。柚香のお店の雰囲気にもそのまま溶け込み一種の情緒を漂わせておられる。料理もさることながら、奥様方を交えた会話も食べ歩き会の特徴。

「スガ終了(内容は省略)」。私は場違いなただの「食いしん坊」。しかしほかのグルメの先生方は料理とおしゃべりな会話を楽しみなながら、リラックスしておられる。そして博識で人生経験豊富な先生方やご婦人の方のこと、医学と医療のあり方、医師と保険医協会の将来、世界の経済、戦争と平和、祇園の舞妓さんや外国人異性との親善方法など、女性陣も積極的に話題を提供され、熱演、激論、爆笑の連続。話は談論風発、尽きることがないが柚香の美味がこなれたところに、次回の冬食歩き会での再会を期して散会した。

(松任市・有川 功)

秋の食べある記  
料理 割烹 香 柚  
金沢市香林坊日銀ウラ  
☎ (0762) 62-6461番

### 奥様方も交えて 激論?と爆笑の二時間

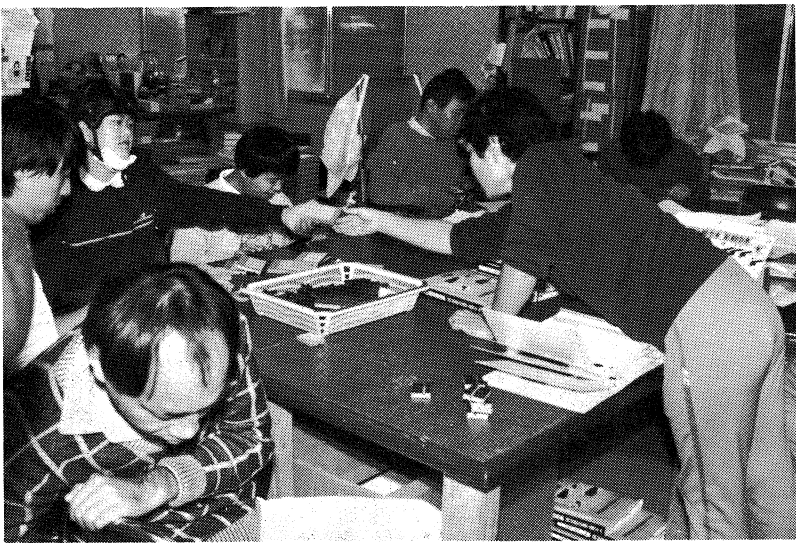
(明星会地区役員  
新納茂一)

# 医療福祉をささぐる人々

10

## 《障害者に働く場を保障する“ひろびろ共同作業所”》

〒921 金沢市長坂1-4-20 ☎0762-42-8861番



建材の副木サンプルをつくっている“ひろびろ”の仲間たち

今回は障害の種別を問わず、どんな重度の障害を持つ「仲間」にも、働ける場と集団生活の場を保障することをめざす、県内唯一の作業所「ひろびろ共同作業所」を訪れました。応対していただいたのは指導員の近藤守、山口映子さんのお二人です。

### みんな仲間たち

「共同作業所は、障害者とその家族、ボランティアによる障害者の働く権利と文化的に生活する権利、社会活動に参加する権利を自らの手で守り、発展させようとする世界に類のない障害者運動です。全国に社会福祉法人の認可施設が約二千カ所あります」

「“ひろびろ”は一九八

三年十二月、平和町のアパートの一室で仲間が一人、指導員一人で発足し、一九八五年四月に現在地の長坂町に移転。石川県、金沢市の援助と多くの人々の募金でプレハブ作業所を建設できました。現在では、十六

### 認可作業所の建設に全力

「仲間二十人の通所の範囲は松任市から森本までであり、通所が自力で困難な仲間を指導員がワゴン車三台で毎朝一時間余りかかって迎えに行っています。」

古本のシール貼り、フキンづくり、建材の副木サンプルづくり、ネットの選別などの注文を受けています。悩みは発注には季節的にムラがあり、まったく仕事が来ない時や集中しすぎる時があることです。

「作業工賃は全部仲間を支給されているが、いずれも単価が安いので、一人当たりの工賃は月三千円から五千円くらいのことです。」

「仲間たちは仕事の上達度よりも、どちらかという障害の差を超えて自分を受け入れてくれる仲間の

「開業医の皆さんに期待することですか。これまでも①法人・認可のための建設資金への協力、②年末にカレンダーの購入、③ひろびろ共同作業所を支える会への加入(注)などで協力

「仲間二十人の通所の範囲は松任市から森本までであり、通所が自力で困難な仲間を指導員がワゴン車三台で毎朝一時間余りかかって迎えに行っています。」

「仕事の内容は仲間合うもの、つまり安全な作業で、納期がゆるく、工程の多いものを目安に、箱折り、

「仲間二十人の通所の範囲は松任市から森本までであり、通所が自力で困難な仲間を指導員がワゴン車三台で毎朝一時間余りかかって迎えに行っています。」

「仲間二十人の通所の範囲は松任市から森本までであり、通所が自力で困難な仲間を指導員がワゴン車三台で毎朝一時間余りかかって迎えに行っています。」

「仲間二十人の通所の範囲は松任市から森本までであり、通所が自力で困難な仲間を指導員がワゴン車三台で毎朝一時間余りかかって迎えに行っています。」



指導員の近藤守さん(左)と山口映子さん

「“ひろびろ”は無認可の小規模作業所であり、経営面での厳しさとともに現状でも仲間二十人、指導員四人にとっては大変窮屈な状態です。さらに今後、増えつつある通所希望者の願いに答えていくためには、私たちは社会福祉法人の運営による新しい認可作業所(身体障害者福祉法などに基づく通所授産施設)の建設をめざしています。仲間たちも広い施設で、のびのび作業ができると心待ちにしています」

「開業医の皆さんに期待することですか。これまでも①法人・認可のための建設資金への協力、②年末にカレンダーの購入、③ひろびろ共同作業所を支える会への加入(注)などで協力

「仲間二十人の通所の範囲は松任市から森本までであり、通所が自力で困難な仲間を指導員がワゴン車三台で毎朝一時間余りかかって迎えに行っています。」

### “ひろびろ”から開業医のみなさまへ

ひろびろは今、ふえつづける仲間たちのために、社会福祉法人の運営による新しい認可作業所(身体障害者福祉法などに基づく通所授産施設)の建設をめざしています。

ひろびろからの協力要請の内容は次のとおりです。

#### ①法人・認可のための建設資金づくり

身体障害者と精神薄弱者の通所授産施設を併設で建設し、計40人の規模に拡張する計画です。

募金目標は建設費自己負担分の3000万円です。

#### ②1988年カレンダーの購入のお願い

5種類あります。(1部1,000円) ※詳細は同封のポスターチラシをご覧ください。

#### ③「支える会」入会のお願い

「支える会」は作業所の仲間、父母、職員、及び一般会員・賛助会員で構成されています。(年額会費2,000円)

◎上記のお申し込み、お問合せはひろびろ共同作業所☎0762-42-8861まで。

「開業医の皆さんに期待することですか。これまでも①法人・認可のための建設資金への協力、②年末にカレンダーの購入、③ひろびろ共同作業所を支える会への加入(注)などで協力

#### 健康のしおり No.29 『腰痛について』



発行 石川県保険医協会

健康のしおり『腰痛について』ができました。今年中に全会員に30部無料でお送りしますので窓口においてご利用ください。 なお、次号健康のしおりは『腹痛について』を只今製作中です。二月中旬頃お送りする予定です。

### 健康のしおり 腰痛について 発刊のお知らせ

No.29

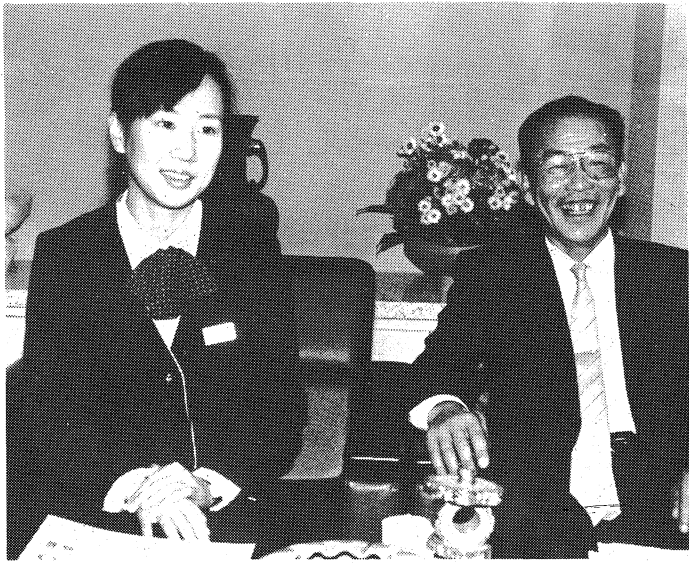


# わが町村の医療福祉を語る

第10回

## “笑顔のある町づくり”をめざす 田鶴浜町を訪ねて

(住民福祉課長と保健婦さんにインタビュー)



水野宇太郎住民福祉課長(右)と保健婦の茅山靖子さん。

人口六、五八〇人、能登半島の中央に位置するこの町は緑の山々を背に七尾湾に面する自然環境に恵まれた町である。

取材班は役場から徒歩三分、今年四月に出来たばかりの町である。

「さつき苑」に案内された。総事業費約二億五千万円を投じて立てられたこの「さつき苑」は一見お城を思わせるモノトーンの重厚な建物である。町民の健康づくりと福祉のキーステーションとしてこの機能は遺憾なく発揮される。

町民の健康管理は町当局の最も重要な課題であることはほかの町村でも同じであるが、この田鶴浜町ではこのほか重要な位置に置かれていた。なぜなら、この町の町づくりのテーマが「明るい笑顔のある町づくり」であり、その笑顔への三本柱として、「恵まれた経済」「豊かな心」とともに第一に「健康」があげられているからなのである。

「人は充足感に満ちてこそはじめて笑顔をはこぼすものである」という西本

### 健康づくりは町づくり

今月は「笑顔のある町づくり」をモットーに、豊かな水と自然環境に恵まれた町、田鶴浜町をご紹介します。

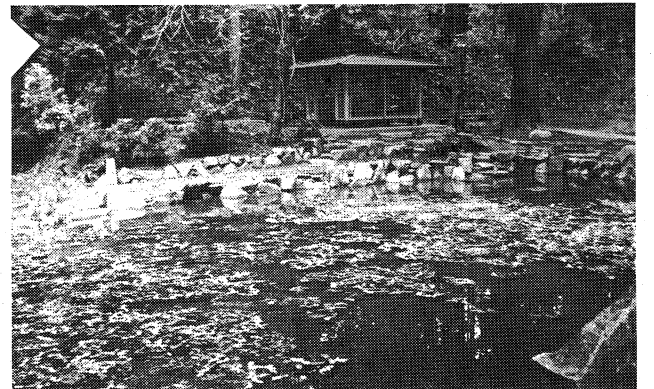
取材には田鶴浜町住民福祉課長の水野宇太郎さんと茅山靖子保健婦にご協力頂きました。

### 町の水は全部、地下水

この町の特筆すべきことのひとつに、「水」が極めて豊富なことがあげられる。

町全体の飲料水を含むすべての水が地下水でまかなわれているのだ。さらに、このほど第三次拡張事業として総事業費三億三千万円をかけ、七本の水源井を充実させ、一日七千トンの需要に足りるという水量である。

さらに町の南側にある「赤蔵山」のふもとには聖武天皇が眼病を治癒されたと伝えられる御手洗池(ミタラシイケ)があり、その涌水は全国名水百選に選ばれる



赤蔵山のふもとにある御手洗池。この湧水は全国名水100選に選ばれている。

町長の考えは町当局の行動原理として生きている。

ほどの良質の水である。「赤蔵山」全体が町民の憩いの場として整備され、お弁当をもって散歩するには格好の場所である。

健康の存在は重要であり、出来ればこの町の人と結婚させたいという本音も覗かされた。近い将来、看護婦と事務職員の増強も検討中とのことで大いに期待されるところである。

### 新保健婦茅山さんに期待

さて、この町の健康と福祉のキーステーションが「さつき苑」であることは先に述べたとおりであるが、活動のプランナーが今年四月に着任したばかりの茅山保健婦である。水野課長が「人格能力ともに大変優れた人材です」と太鼓判を押すところ、しっかりした方である。美人であることは写真のとおり言うまでもないが、二十五歳、独身ということ



今年4月にオープンしたばかり。健康と福祉のキーステーション「さつき苑」。

### 町単独で“検診”受診率が2倍に

保健活動の特徴としては検診事業を町単独で行っていることであろう。他町村とちがいで、ここでは独自の施設検診がそのすべてである。

健康教室や検診の個人通知を積極的に行い、その結果、日曜検診や早朝検診の

### 老人が健康に暮らせる社会づくりを

茅山保健婦に現在の仕事に対する抱負を語っていた。

「今は失敗半分、仕事半分の毎日です。でも落ちこたえなく先へは進めないので、たくさん失敗するのはたくさん仕事をしている証拠、

と自分を励ましています。私の出た看護専門学校の保健学科では、これからの保健婦は臨床経験が長くなければいけないという理念のキャリアラムをとっていましたので、私もその経験を生かし、回りの人の協力を得ながら町民の健康に貢献したいと思っています」と話された。

最後に、「これからの老人問題についてどう考えますか」との質問を試みた。「若いときから健康管理を十分に行い、年老いてからも健康で生きがいを持って暮らせる社会づくりが必要です」とのことであった。

(保険医協会取材班)

保険医年金グループ保険にご加入の皆様へ

確定申告のための課税証明のご案内

今年も残すところ十日余りとなりました。年末調整並びに確定申告のための課税証明書の発行につきまして次のように御案内申し上げます。

- 記
- 一、保険医年金およびグループ保険加入者(会員本人、配偶者とも)で生命保険料控除の課税証明書を希望される方は保険医協会まで電話またはハガキでお申し出下さい。
  - ◎お申し込み先

金沢市尾張町一―九一十一  
石川県保険医協会  
(電話)〇七六二―二一五三三番



来年の標語は、今考えているところ…と早川院長。

# おねあひます

33

## 早川浩之

先生の巻

### 河北中央病院院長

## 病院の質の向上に 明け暮れる

協会会員の病院長シリーズ第二回は、河北中央病院院長の早川浩之先生をご紹介します。早川先生は協会の学術・保険部の一員でもあり、これまで糖尿病懇話会などの研修会や審査問題などでも幅広く活躍されています。

—先生はこの病院では四代目の院長とお聞きしていますが、着任されたのはいつですか。

昭和五十六年の四月です。それまでは金沢大学の第一内科にいました。

—そのころの先生にはそのまま大学に残られるか、あるいは開業するという道もあったと思いますが、あえて病院長になられた動機というのは何だったんですか。

実は、ここに来ないかと

ですからあえて動機といえ、教授のすすめがあったからということになりますね。

ドクターともに院内での勉強会・研究発表会や英語論文の抄読会などが定例化して大病院と比較しても劣らない学習体制が出来ています。それから、やはり大学から出張のドクターの学習の場にもならなければいけないとも思っています。

—先生が院長になられて急にスタッフの方々が忙しくなったわけですが反応はどうでしたか。

まあ、口うるさいということが本音であるんですけど、働くものとしてのやりがいになってきているのではないかと思っています。それでもまだまだ現状は満足できるものではありません。

—この六年間でぜひ病院が充実し、先生のご苦労が一応実ったということになりますか、今後の抱負という点ではいかがでしょうか。

この病院はベッド数が八十床でスタッフも七十人と

## 患者教育の 徹底を図りたい

—具体的にはどのように取り組んでこられたんですか。

まず私一人では何も出来ないということからスタッフの資質向上からはじめました。前任の齊川および今の舟木総婦長が、その大切さを理解してくれて熱心に協力してくれたものですか

具体的には日赤病院や能登総合病院などへ二、三人ずつ交代で三日間の研修をさせました。この病院だけで仕事をしていると、どうしても、井の中の蛙、大海を

知らず“になってしまっています。そしてレポートを提出してもらったんです。そうしますと、この病院の劣っている点や改善点などがだんだん明らかになって、スタッフの意識がかなり高まってきました。その後は学会・研究会・講演会など、あらゆる機会をとらえて出席するように勧めました。

また、糖尿病教室、高血圧教室、そして入院患者の昼食会などを体制化してきました。そうするとスタッフの学習意欲がさらに高まってきて、今ではスタッフ、

この病院の規模としては中途半端でいろいろ問題はありますが、病院づくりという点では大変やりやすい規模なんですよ。たとえば最近のことでは、昨年末から入院患者の夕食時間を家庭並の六時からにしたり、今年四月には外履のまま病

## 「我々の診療は常に 患者によって評価される」

—先生のモットーとして、このことはなんでしょうか。

特にこれといったものはありませんが、毎年一回、新年の挨拶のときに私が標語をつくるんです。今年は何

「われわれの診療は常に患者によって評価される」というのをつくって、病院内の各部所十三カ所に貼ってあります。やはり、ドクターもスタッフも常に新しい医学の勉強をし、進歩に遅

いう病院の規模としては中途半端でいろいろ問題はありますが、病院づくりという点では大変やりやすい規模なんですよ。たとえば最近のことでは、昨年末から入院患者の夕食時間を家庭並の六時からにしたり、今年四月には外履のまま病

スタッフもまとまりがあって一致団結してくれまして、今後いろいろなことをやろうと思っています。とくに予算の問題や院内のゴタゴタなどでは松田事務局長が大変力になってくれていますし、その能力に大変感謝しています。今後の抱負という点では、患者教育の徹底強化・患者サービスの向上を図っていききたいと考えています。スタッフの能力の強化は、このためにあるんですからね。

—最後に先生の健康法とご趣味についてお聞かせください。

健康法と言えますかどうかわかりませんが、趣味も兼ねて、つきなみにスキー、テニス、ゴルフぐらいのものです。最近、ビリヤードもはじまりました。週一回ですが結構楽しんでます。

—どうもありがとうございます。来年以降、多数（定員数）のご要望がありました場合には、企画させていただきます。ご了承ください。（文化部）

## 今年はスキー・ツアーを 中止します

これまで毎年、スキーツアーを開催して来ましたが、例年、会員およびご家族の参加が少ないことと、キャンセルが多発するため、今年度は企画を見合わせることにしました。

来年以降、多数（定員数）のご要望がありました場合には、企画させていただきます。ご了承ください。（文化部）

### 年末年始の 事務局休務のご案内

十二月二十九日（火）から一月五日（火）まで、年末年始休務となりますので、協会事務局は休務となります。

—最後に先生の健康法とご趣味についてお聞かせください。

健康法と言えますかどうかわかりませんが、趣味も兼ねて、つきなみにスキー、テニス、ゴルフぐらいのものです。最近、ビリヤードもはじまりました。週一回ですが結構楽しんでます。

—どうもありがとうございます。来年以降、多数（定員数）のご要望がありました場合には、企画させていただきます。ご了承ください。（文化部）